

🚲 小学生のための自転車安全教室 🚲
～たのしくまなぶルールやマナー～

教師用 学習指導案



目次

【はじめに】	1
【1 乗る前におぼえること】（低・中・高学年）	1～2
【2 安全に運転してみよう】（低・中・高学年）	3～4
【3 きけんだよ】（低・中・高学年）	5～6
【4 わかるかな】危険予測トレーニング（中・高学年）	7～8
【4 わかるかな】交通事故の防止（中・高学年）	9～10
【ワークシート 1～4】	11～14

【1 乗る前におぼえること】(低・中・高学年)

はじめに

安全学習・安全指導は、小学校学習指導要領総則「安全に関する指導」等により、学校における教育活動全体を通じて行われることとされております。

とりわけ、昨今、自転車による加害事故が多発しており、自転車に関する交通安全教育の意義は重要と考えられます。

日本損害保険協会では、自転車に関する基本的な交通法規を理解させ、安全な走行ができるようにすることを目的に、小冊子「小学生のための自転車安全教室」を作成しています。

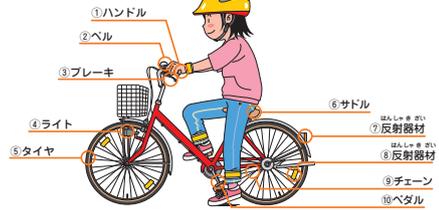
本書は、同冊子を、どの学年でも交通安全教育用副教材として活用いただけるように、「学習指導案」を新たに作成したものです。先生方の参考に供していただくことで、自転車による悲惨な交通事故防止の一助となることを願います。



1 乗る前におぼえること

●あなたの自転車だいじょうぶ？

点検するところはどこかな？



自分の自転車を点検して、問題がなければ○印のところに○をつけましょう。
○がつかないところがあつた場合は、修理などが終わってから乗りましょう。

部分	点検すること	印	部分	点検すること	印
①ハンドル	●上から見て前のタイヤと直角になっていますか。	<input type="checkbox"/>	⑥サドル	●ぐらつていませんか。 ●またがってみて、両足が着るに よく高さですか。	<input type="checkbox"/>
②ベル	●音がよく鳴りますか。 ●手をはずさずに鳴らせますか。	<input type="checkbox"/>	⑦反射器材	●こわれたり、よこれたりしていま せんか。	<input type="checkbox"/>
③ブレーキ	●おしてみて、前も後ろもよくき きますか。	<input type="checkbox"/>	⑧反射器材	●こわれたり、よこれたりしていま せんか。	<input type="checkbox"/>
④ライト	●直方を向いていますか。 ●明るくつきますか。	<input type="checkbox"/>	⑨チェーン	●ゆるみすぎていませんか。	<input type="checkbox"/>
⑤タイヤ	●空気は入っていますか。 ●すりへっていませんか。	<input type="checkbox"/>	⑩ペダル	●曲がっていませんか。 ●よく回りますか。	<input type="checkbox"/>
			●全 ●体	●乗ってみてガタガタ、キーキー というへんな音はしませんか。	<input type="checkbox"/>

自転車に乗るときは、必ず乗車用ヘルメットをかぶりましょう。
ヘルメットは、自分の頭に合ったものを選びましょう。

指導者・保護者の皆様へ

自転車に乗せて、なぜこの点検が必要か、不具合があるとなんか事故に結び付くか理解させましょう。また、定期的に自転車安全整備場に行つて点検や整備を受けますよう。
なお、自転車は、車体の安全性を示すマークの付いたものを選ぶようにしてください。

1 乗る前におぼえること

●信号の正しい見方、知っているかな？

●信号にしたがって走りましょう。

信号の種類



1 乗る前におぼえること

●この標識のあるところでは、どうしたらいいのかな？

●正しい意味を下の①～③からえらびましょう。



こたえ こたえ こたえ

④ 特定小型原動機付自転車・普通自転車等 自転車通行止め (Prohibited for specific small motorized bicycles and general bicycles)



こたえ

⑤ 横断歩道・自転車横断帯 自転車横断帯 (Crossing for pedestrians and bicycle crossing zone)



こたえ

⑤の標識がある道路では、ここを走りましょう。

- ⑦ 一度止まって右左の安全をたしかめます。
- ⑧ 自転車や歩行者などが通れる道路で、自動車やバイクは通れません。
- ⑨ 自転車は自転車横断帯を渡つて横断します。
- ⑩ この先に踏切があるので注意します。
- ⑪ 自転車はここを渡ってはいけません。

1. 本時の展開

(1) ねらい

- ・基本的な自転車点検の仕方を知るとともに、信号や交通標識の表示する意味を正しく理解する。
- ・交通ルールやマナーを進んで守り、安全に道路を自転車通行することができるようにする。

(2) 指導の実際

	学習活動（予想される児童の反応）	留意点・支援（◎）評価（◆）
導入	1. 本時の学習課題について知る。 自転車に乗る前に確認することは何か。	◎「あなたの自転車だいじょうぶ？」自転車は、乗る前の点検が大切だということを考えさせる。
展開	2. 自転車を安全に乗るために点検の仕方を学習する。 ① P 1 の自転車の絵を見て、①～⑩の自転車各部の名称とその役割を確認する。 ② 自転車の絵を見て、気が付いたことを発表する。 ③ 表を活用して、①～⑩までの点検の仕方を知る。 ブレーキ、タイヤ、ベル、サドル、ハンドル・反射板、ライト 等	◎各部の名称を声に出し、確認させる。 不具合があると、それぞれどんな事故に結びつくか考えさせる。 ◎自転車乗車の絵を見て、気が付いたことを発表させる。 ・ヘルメットをかぶっている。 ・片足が、地面についている。 ・服装（ズボンのすそ・明るい服装） ・その他 ◎P 1 の自転車の絵を、プロジェクター等で拡大して指導すると、分かりやすい。また、子供用自転車の実物で具体的に、確認できるとよい。
	主な点検箇所の合言葉 [ブ・タ・ベル・サ・ハ・ラ] 	
展開	④ 上記の「合言葉」で覚えた点検箇所を7こワークシートに記入する。 ⑤ チェーンの点検は、安全に十分留意することを知る。 ⑥ ヘルメットは自分に合ったものを着用することが大切であることが分かる。	◆表の点検内容が、なぜ大切なのか理解しているか。 ◎P 1 のページに、「ブ・タ・ベル・サ・ハ・ラ」と記入させ、再度自転車の絵で確認させる。 ◎家庭でも、必ず自転車点検を行うよう促す。
開	3. 信号の正しい意味を知る。 ① 青…右左右をよく見て渡る。 ② 黄色・青チカチカ…渡り始めてはいけない。次の青まで、安全なところで待つ。 ③ 赤…安全なところで待つ。 ・上記で覚えた信号の意味をワークシートに記入する。 ・地域にある信号のある横断歩道で、危険なところはないか考え、ワークシートに記入する。	P 2 参照 「信号の正しい見方、知っているかな？」を確認する。 ◎「青は、注意してわたってもよい」を確認する。 ◎「黄色と青のチカチカ」については、特に丁寧に扱う。 ◎押しボタン式の信号もあることも知らせる。
開	4. 交通標識を覚えよう。 P 3 の交通標識の正しい意味を㉗～㉜から選び、記入する。 ① 一時停止 ② 普通自転車等及び歩行者等専用 ③ 踏切あり ④ 特定小型原動機付自転車・自転車通行止め ⑤ 横断歩道・自転車横断帯、自転車横断帯* ※自転車横断帯は道路標示 ・自分たちの住んでいる地域にどんな交通標識があるか調べてみましょう。	◎黒板掲示用の標識を用意できるとよい。 P 3 の交通標識の正しい意味を考えさせ、選ばせる。 ◎その他の標識で、知っているものがあれば発表させる。 ◎「歩行者等専用」「横断歩道」「歩行者等横断禁止」などの標識も、確認させる。 ※「普通自転車等及び歩行者等専用」は歩行者優先であることを確認する。 ◆身の回りにある信号や交通標識について、関心をもち信号や標識に従おうとしているか。
まとめ	5. 自転車に乗る前に点検することや正しく安全に乗るための交通ルールやマナーを知り、それを守ろうとすることの大切さを知る。	◎自転車の事故を引き起こさない（加害者にならない）ために、また、事故に巻き込まれない（被害者にならない）ために、自転車の安全な乗り方を確認させ、交通ルールを守ることの大切さを押さえる。 ◆交通ルールやマナーを守って、安全に自転車に乗ろうとしているか。 ※自転車安全教室（実地訓練）につなげる。

(3) 評価

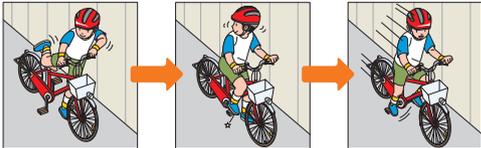
自転車に乗る前に点検確認することや、正しく安全に乗るために交通標識や交通ルール・マナーについて関心をもち、それを守ろうとしているか。

【2 安全に運転してみよう】 (低・中・高学年) ……………

2 安全に運転してみよう

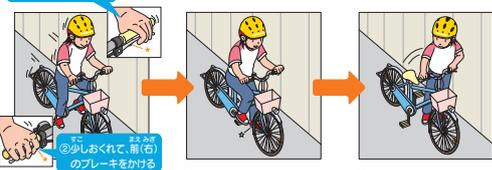
●自転車に乗ってみよう！

正しい発進の方法



- ① 車とぶつからないように道路の左はしで、自転車の左がわから乗ろう。
- ② 後ろと前の安全をたしかめよう。
- ③ 車が来ていないときに、ぶつからないように発進しよう。

正しい止まり方とおり方



- ① 安全をたしかめて、すぐに止まれるようにスピードを落とそう。
- ② 左足を地面に着けて、道路の左はしに止まろう。
- ③ 自転車の左がわへおりよう。

指導者・保護者の皆様へ

令和5年4月1日から、全ての自転車利用者に対して乗車用ヘルメット着用の努力義務を内容とする道路交通法の一部改正が施行されました。また、自転車に関する交通秩序の更なる整序化を図り、自転車の安全利用を促進するため、自転車の交通ルール全般に当たっては、「自転車安全利用五則」を活用するものとされています(令和4年11月1日中央交通安全対策会議交通対策本部決定)。

◆「自転車安全利用五則」は、次のとおりです。

- ① 車道が原則、左側を通行
- ② 歩道は例外、歩行者を優先
- ③ 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- ④ 飲酒運転は絶対禁止
- ⑤ ヘルメットを着用

4

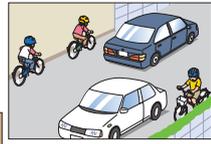


2 安全に運転してみよう

●道路のどこを走ればいいのか？

車道は左がわを走ろう

車道の右がわを走ると左がわを正しく走っている自動車や自転車とぶつかってしまっ、とてもあぶないよ、自転車道を走るときも左がわを走ろう。



注意 路側帯(※)を通る場合は、道路の左がわにある路側帯を走らなければいけません。



※路側帯とは、歩道のない道路に白い線で区切られた外がわの部分があります。

歩道では、車道がわをゆっくり走ろう

歩道を自転車を通るときは、車道がわが決められた部分をゆっくりと、すぐに止まれるスピードで走ろう。歩行者の邪魔になるときは一たん止まろう。



指導者・保護者の皆様へ

4ページの自転車安全利用五則の①についてはこのページにまとめて掲載しています。子どもが自転車で道路に出る前に、走行できる場所・通行する場所一時停止しなければならない場所を認識させてください。また、小学生は歩道を走ることが認められていますが、中学生には「普通自転車等及び歩行者専用」の標識がある場合、車道または交通の状況から、車道を走ることが危険である場合は、車道を走ることが原則になります。
②、③については、2ページ及び6~7ページで詳しく解説しています。特に、交差点は事故が起きやすい場所であり、安全に注意して走行しなければならぬことを理解させてください。
また、6~8ページには、「こんな運転はしてはいけません。ぜったいにやめよう」として、子どもが日頃やってしまいがちな、危険な乗り方を取り上げました。危険な乗り方は事故を引き起こし、自分だけでなく、一緒に走っている友だちや歩行者も傷つけることがあることを子どもに繰り返し指導しておくことが重要です。
⑤については、1ページでヘルメット着用の重要性についてお話ししています。

3 ページの答え ①-②、②-③、③-②、④-②、⑤-①

5

2 安全に運転してみよう

●道路のわたり方をおぼえよう！

道路のわたり方



横断歩道の場合
横断歩道に歩行者がいるときは、自転車からおり、おしてわたろう。



自転車横断帯がある場合
車や歩行者に注意して、自転車横断帯を横断しよう。

右に曲がる時の方法



信号のある交差点の場合
信号を守って、2回にわたって曲がる。



信号のない交差点の場合
安全をよくたしかめて2回にわたって曲がる。

左に曲がる時の方法



交差点を左に曲がる場合
道路の左はしにそって曲がる。



車のまきごみに注意
左に曲がろうとする自動車に注意しよう。

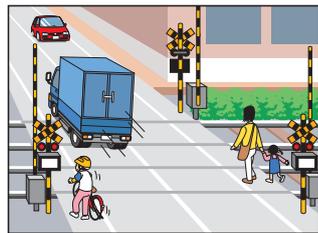
6



2 安全に運転してみよう

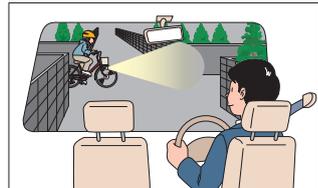
●踏切や夜は気をつけて！

踏切のわたり方



踏切をわたるときは、自転車をおして歩きます。
遮断機が上がっても、すぐにとび出さず、右左をよくたしかめてわたります。

夕方や夜など、暗いとき



夕方や夜は、かならずライトをつけましょう。ライトをつけると、明るくなって前が見えやすくなるよ。
また、歩行者や自動車からもわかりやすく安全です。暗くなったら、ライトをかならずつけましょう。

7

1. 本時の展開

(1) ねらい

自転車の正しい発進や止まり方、降り方の方法を知るとともに、車道や歩道の通り方や道路の渡り方を覚え、走行時におけるルールやマナーについて理解し身に付ける。

(2) 指導の実際

	学習活動（予想される児童の反応）	留意点・支援（◎）評価（◆）
導入	1. 本時の学習課題について知る。 自転車の安全な利用の仕方やルールやマナーを知る。	◎自転車の乗り方を振り返り、安全な運転の仕方を確認させる。（自転車を用意し、実際に取り扱いながら指導すると良い）
展開	2. 安全な運転の仕方について、確認する。 ・正しい発進の方法を知る。 ・正しい止まり方と降り方を知る。 [3つの左] ①乗り降りは“左側から” ②待つ時は“左足”をつけて待つ。 ③ブレーキは“左ブレーキ（後ろ）”からかける。 ワークシート2「正しい発進や止まり方とおり方を学習してわかったこと」等を記入する。 3. 自転車利用時の「ヒヤリハット体験」をグループで話し合い、発表する。 4. 「道路のどこを通ればいいのか？」自転車の事故を引き起こさない、事故に巻き込まれないためには、道路のどこを通ればよいか確認する。 5. 正しい道路の渡り方を覚える。 ・左右に曲がる時の方法を確認する。 ・交差点を左に曲がる場合、車の巻き込み事故が多いことを知る。 6. 踏切や夜の走行について確認する。 ワークシート2「踏切のわたり方や暗いときの自転車運転で気を付けなければならないこと」を記入する。	◎「正しい発進の方法」をP4の挿絵と文で確認させる。（なぜ、左はし、左側なのか考えさせる） ・道路の左はしで、自転車の左側から乗る。 ・前後の安全を確認して、発進する。 ◎「正しい止まり方とおり方」をP4の挿絵と文、実物自転車を活用して、確認させる。 ・止まる時のブレーキのかけ方を知る。 ・徐々にスピードを落とす。 ・【後ろ（左）ブレーキ→前（右）ブレーキ】 ・左足を地面に着け、道路の左はしに止まり、左側へ降りる。 ◎「*ヒヤリハットした体験」があるか、自由に話し合わせ、発表させることを通して、事故の怖さを知る。 ※重大な事故には至らないものの、直結してもおかしくない一歩手前の事例のこと ◎P5 道路のどこを通ればいいのか、挿絵と文で確認させる。 ◎P6 道路の渡り方を挿絵と文で確認させる。 ・道路は左側を通る。 ・歩道では車道側をゆっくり走る。 ◆道路の通り方を理解しているか。 ◎自転車での道路の渡り方を確認する。 ・横断歩道の場合 ・自転車横断帯がある場合 ・信号のある交差点 ・信号のない交差点 ◎信号のない交差点での事故が多いことを押さえる。 「止まる・見る・確かめる」ことが大切なことを確認する。 ◎P7 踏切の渡り方や夜間の走行の仕方を確認させる。 ・警報機が鳴っている場合や、遮断機が下り始めたら、決して踏切内に入らないこと。 ・ライトの点灯や反射板の効果、洋服の色等を確認させる。
まとめ	7. P4～7を参考に、自分の自転車の乗り方を振り返りながら、安全運転のめあてをワークシートにまとめる。	◆自分の自転車利用の課題に気づき、安全な乗り方をしようめあてを記述しているか。

(3) 評価

自転車の正しい発進や止まり方の方法を知るとともに、車道や歩道の通り方や道路の渡り方を覚え、走行時におけるルールやマナーについて理解し、守ろうとしているか。

3 きけんだよ



●こんな運転はしてはいけません。ぜったいにやめよう！

① とび出し



急なとび出しはきけんです。かならず止まって右左の安全をたしかめてから進みましょう。

② 信号無視



信号を守って、安全をかくにんして横断しましょう。

③ スピードの出しすぎ



ほかの人にぶつかってケガをさせることもあるのでやめましょう。

④ ならんで走らない



ならんで走るとほかの人や車のじやまになるよ。ぶつかってケガをすることもあるのでやめましょう。

指導者・保護者の皆様へ

自転車は安全に利用すれば便利な乗り物です。しかし、ルールを守らず、危険な乗り方をすると、子どもが事故に遭いケガをするだけでなく、歩行者などにケガをさせる場合もあります。8~9ページで取り上げた、乗り方の危険性を子どもにしっかり指導し、危険な乗り方はしないように約束させてください。
また、普段から保護者自身が交通ルールに則った安全な運転をすることで、子どもの手本となるようにしてください。



3 きけんだよ

⑤ 二人乗り



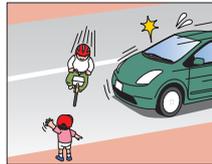
二人乗りは禁止されています。バランスをくずしやすくけいんなのでやめましょう。

⑥ 片手運転・手ばなし運転



走っているときは、両手でしっかりハンドルをにぎりましょう。

⑦ ななめ横断



ななめに横断すると、車とぶつかることがあるのでやめましょう。

⑧ かさをさしての運転



かささし運転は片手運転にもなり、前が見えにくくなってきけんなのでやめましょう。

⑨ 自転車と自転車の間を十分にあげよう



前の人が急にブレーキをかけたときにぶつかるきけんがあるよ。

1. 本時の展開

(1) ねらい

自転車の正しい乗り方を理解するとともに、交通ルールやマナーを身に付け危険を回避する能力を高める。

(2) 指導の実際

	学習活動（予想される児童の反応）	留意点・支援（◎）評価（◆）
導入	1. 本時の学習課題について知る。 自転車の正しい乗り方を理解し、危険な乗り方をしないようにする。	◎地域の警察等の資料から、 <u>自転車事故の具体的な事例</u> を提示し、課題意識をもたせる。
展開	2. 自転車に乗っていて、ヒヤリハットした体験を思い出し、発表する。 3. 自転車の危険な乗り方について、知っている危険な乗り方をワークシート3に書く。 4. どんな危険な乗り方があるか、シートに記入したことを、グループごとに話し合う。 5. どんな乗り方が危険か、P8、9「こんな運転はしてはいけないよ。ぜったいにやめよう！」の挿絵と文で、確認する。 6. 黒板に書かれた自転車安全利用五則を読み、ワークシート3に大事な部分を記入し、交通ルールの確認をする。 ①車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先 ②交差点では信号と一時停止を守って、安全確認 ③夜間はライトを点灯 ④飲酒運転は禁止 ⑤ヘルメットを着用	◎どんな場面か、いくつか発表させる。道路の状況やその時の本人の気持ちなどを確認する。 ①とび出し ②信号無視 ③スピードの出しすぎ ④ならんで走らない ⑤二人乗り ⑥片手運転・手ばなし運転 ⑦ななめ横断 ⑧かさをさしての運転 ⑨自転車と自転車の車間距離 その他に・携帯電話使用運転・夜間の無灯火運転・イヤホン等使用運転・ブレーキ不良・ベルが壊れている・歩道上の駐車・信号無視・歩道での歩行者妨害・車道の右側通行 他 ◎自転車安全利用五則を表示（板書）し、内容を確認しながら、ワークシート3に記入させる。 ◎自転車安全利用五則の内容が守られているか、自分の自転車運転の仕方を振り返り、マナーやルールを守ることの大切さを知る。 ◎家族内の大人の人に、自転車での飲酒運転も禁止されていることを伝えてもらい、他の内容も含めて家族全員で話し合い、自転車の交通安全の啓発につなげてもらう。 ◆危険な乗り方は、自分がケガをするだけでなく、歩行者にもケガをさせる場合（加害者となる可能性）があることを理解しているか。
まとめ	7. P8、9を参考に、自分の自転車の乗り方を振り返りながら、安全運転のめあてをワークシート3にまとめる。	◆自分の自転車利用の課題に気づき、安全な乗り方をしようめあてを記述しているか。

(3) 評価

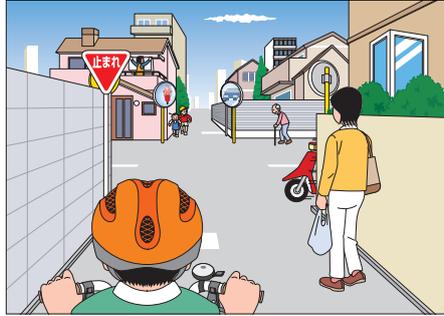
自転車の正しい乗り方を理解するとともに、交通ルールやマナーを身に付け、危険を回避する能力を高めることができたか。

4 わかるかな



●この道ではどうする？ 信号のない交差点での注意点

●信号のない交差点を自転車でわたろうとしています。
どんなことに注意すればいいかな？



どこがあぶないか
話し合ってみましょう。

正面のカーブ
ミラーに何か
うつっているよ。



指導者・保護者の皆様へ

- ①【予測】見通しが悪いので、左右から車や自転車、歩行者などが出てきて、ぶつかる危険があります。
- 【回避】一時停止の標識があるところでは、停止線の手前で確実に一時停止をします。そして、左右が見えるところまで注意しながら徐々に前進し、安全を確かめてから進みます。
- ②【予測】後方に左折しようとする車が来ている場合には、その車に巻き込まれる危険があります。
- 【回避】左右の安全だけでなく、前方や後方の安全も十分確認してから進みます。特に、後方に左折車がある場合には、並進せず、左側手前で待って車を先に進行させます。

※その他、いろいろな危険が予測されますので、子どもと話し合ってみましょう。



4 わかるかな

●この道ではどうする？ 信号のある交差点での注意点

●信号のある広い交差点を自転車でわたろうとしています。
ここではどんなことに注意すればいいかな？



どうすれば
安全にわたることが
できるだろうか？

ひとくまうこ
人や車の動きにも
気をつけて注意しないとね。



指導者・保護者の皆様へ

- 横断歩道は歩行者の横断のための場所ですので、歩行者が優先です。自転車は、歩行者の通行を妨げるおそれのある場合は、乗ったまま通行してはいけません。
- ①【予測】歩行者用、車専用信号ともに青信号です。前からの右折車、後からの左折車とも、横断歩道上の歩行者に気をとられ、自転車には気づいていない可能性があります。
- 【回避】車の動きに注意し、目をドライバーの目と合わせるなどして、自分の存在や行動を相手に認識してもらうようにします。
- ②【予測】自転車が左折車の隙に隠れ、右折車からは死角となって見えなくなってしまう。
- 【回避】たとえ信号が青でも、周囲の安全を確認してから進みます。
- ③【予測】青の歩行者・自転車専用信号が横断途中に青の点滅、そして赤に変わることが予測できます。急いで渡るように歩行者に気づかずに渡る危険があります。
- 【回避】特に、幅の広い道路を横断する場合には、あせってスピードを上げたりせず、次の青信号まで待って余裕をもって渡るようにします。

※その他、いろいろな危険が予測されますので、子どもと話し合ってみましょう。

1. 本時の展開

(1) ねらい

交差点での自転車走行の危険を予測することを通して、自転車の正しい乗り方や交通ルール・マナーを確認し、危険を回避する力を身に付ける。

(2) 指導の実際

	学習活動（予想される児童の反応）	留意点・支援（◎）評価（◆）
導入	<p>1. 本時の活動について知る。</p> <p>自転車に乗っているときの、交差点での、隠れた危険を予測しよう。</p> <p>2. 日本損害保険協会発行の冊子「知っていますか？自転車の事故」等に掲載の交通事故データから、自転車事故の実態や原因を知る。</p>	<p>◎今まで、自転車に乗っていて、ヒヤリとしたことはあったか、思い出させる。</p> <p>◎資料をもとに、自転車事故の多くが自動車との事故で、出会い頭衝突による事故や右左折時衝突が多いことに気付かせる。</p>
展開	<p>3. P10の「信号のない交差点での注意点」では、どんなことに注意すればよいか、絵を見て気が付いたところを直接○で囲み、ワークシート4に記入する。</p> <p>4. 記入したことをもとに、グループごとに、交差点での自転車走行の危険について話し合う。</p> <p>5. 話し合ったことを発表し、信号のない交差点での危険回避の仕方を考える。</p> <p>6. 同様にP11の「信号のある交差点での注意点」では、どんな危険があるか、回避する方法を考え、ワークシート4に記入する。</p> <p>○信号に従う（青でも安全を確認しながら走行）</p> <p>○左折車、右折車への十分な注意</p> <p>○信号が点滅した場合</p> <p>○バイクが右折</p> <p>○高齢者が横断している</p> <p>7. 見えない危険を予測することができたか、危険だと気が付いたことを、発表する。</p> <p>事故に遭うだけではなく、事故を引き起こす原因にもなるため、交通ルール・マナーを守ることの大切さを知る。</p>	<p>◎どこが危ないか、絵に直接○で印を付けさせ、その後ワークシート4に、各自記入させる。（P10の例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左手ミラーに、バイク ・右手ミラーに、車 ・自分の前に、一時停止ライン ・小学生と幼児が歩いてくる ・右前に荷物を持った女性 ・止まれの標識 ・塀が高い ・杖をついた高齢者 等 <p>◎信号のない交差点での自転車走行中の危険について、予測したことを自由に話し合わせる。</p> <p>◆絵から分かる情報だけではなく、潜む危険があることを予測できているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横断歩道…歩行者優先。歩行者の通行を妨げることがある場合は、乗ったまま走行できない。 ・自転車横断帯…ある場合は、横断帯を進行する。 ・歩行者用・車両用ともに、青信号である。対向右折車や左折車が自転車に気付かず、進入してくる場合がある。 ・歩行者・自転車用信号が点滅しているときは、慌ててスピードを上げたりせず、次の青信号まで待って、余裕をもって渡る。 <p>◎自転車は道路交通法では、自動車と同じ車両であること。自転車の加害事故の主な要因は、安全不確認、一時不停止、信号無視等が多いことを確認する。</p>
まとめ	<p>8. 学習したことをもとに、自分の自転車安全運転のめあてを決める。自分の自転車安全のめあてをワークシート4に書く。</p>	<p>◆学習したことをもとに、交差点での自転車の安全について、気を付けなければならないことを考え、自分の生活に生かそうとしているか。</p>

(3) 評価

交差点での自転車走行の危険を予測することを通して、自転車の正しい乗り方や交通ルール・マナーを確認し、危険を回避する力を身に付けているか。

1. 本時の展開

(1) わらい

- ・自転車による交通事故の実態から、事故を起こした時の責任について考える。
- ・自転車の利用によるさまざまな危険について知り、回避する方法を身に付ける。

(2) 指導の実際

	学習活動（予想される児童の反応）	留意点・支援（◎）評価（◆）
導入	1. P12の「練習問題」正しい乗り方といけない乗り方について考える。 ・なぜ、危険なのか考える。 ・答え合わせをする。	◎いけない乗り方について、なぜ危険なのか、理由を考え発表できるように促す。
展開	2. P13資料「わがやのこうつうあんぜん」を読む。 3. 今までに自転車に乗っていて、「ヒヤリ」「ハット」したことを話し合う。 4. 自転車による交通事故の実態を知る。 ・自転車事故による死傷者数 約6.8万人 ○自転車乗用中事故の相手方当事者別交通事故件数の割合 ・自動車との事故が約8割 ○自転車乗用中事故（車両相互）の事故類型別交通事故件数の割合 ・出会い頭衝突 約5割 ・右左折時での事故 約3割 ○自転車乗用者（第1当事者）の法令違反別交通事故件数の割合 ・安全運転義務違反 約6割 ・一時不停止 約1割 ・交差点安全進行義務違反 約1割 5. 交通事故による被害者や加害者、その家族のその後を考える。（グループごとに話し合う） ・被害者になった場合 ・加害者になった場合 6. 交通事故の原因を考える。 ・身近にある危険だと思われる場所を確認したり、交通ルールやマナーを守ったりすることの大切さを知る。 ・自転車安全利用五則を思い出し、確認する。	P13「わがやのこうつうあんぜん」から、交通ルールを守ることの大切さを確認する。 ◆今までの危険な体験を思い出し、発表できる。 ◎身近なところにも、危険がひそんでいることを感じさせる。 ◎自転車による事故事例を紹介する。 ※警察庁ホームページ掲載のデータ ：自転車（第1・第2当事者）の相手当事者別交通事故件数の推移 ：自転車乗用者（第1・第2当事者）の事故類型別交通事故件数の推移 ※警察庁交通局『交通統計年報』掲載のデータ ：自転車乗用者・歩行者（第1当事者）の違反別・年齢層別交通事故件数 ◆被害者やその家族の悲しみや痛みを考えることができる。 P13資料・自転車事故とその責任 ◆交通事故は、被害者や加害者、またその家族の一生も変えてしまう結果になることに気付く。 ◎どのようなことに気を付けて生活していけば、交通事故を無くすことができるか考えさせる。 ◎安全確認の仕方、飛び出しの危険、車間距離、信号やカーブミラーへの注意、曲がり角や交差点、見通しの悪い所での走行等危険を回避しようとする意識を高めさせる。
まとめ	7. 今日学習したことを、自分の生活にどのように生かしていくか、分かったことをワークシートに記入する。	◆身近にある危険に気付き、その危険をどのように回避したらよいか理解し、取り組んでいこうとする意識が育っているか。

(3) 評価

自転車による交通事故から、事故を起こした時の責任について考え、自転車の利用によるさまざまな危険を回避する方法を考えられたか。

しょうがくせい しょうがくせい じてんしゃあんぜんきょうしつ「小学生のための自転車安全教室」① **〔1 のまえ 乗る前におぼえること〕**

1. 「あなたの自転車だいじょうぶ？」

じてんしゃてんけん 自転車点検しなければいけないところを おも だ 思い出して、7 か 書きましょう。

①

⑤

②

⑥

③

⑦

④

2. 「信号の見方」で、き つ 気を付けることを思い出して か 書きましょう。

あおしんごう
青信号

き いろしんごう あおしんごう
黄色信号・青信号の子カチカ

あかしんごう
赤信号

3. ち いき 地域にある しんごう 信号のある おうだん ほ どう 横断歩道で、き けん 危険なところはないか、き が つ 気が付いたことを か だ 書き出してみよう。

4. じ ぶん 自分たちの す 住んでいる ち いき 地域には、こうつうひょうしき どんな交通標識があるか しら 調べてみましょう。

ワークシート2

ねん
年

くみ
組

なまえ
名前

しょうがくせい じてんしゃあんぜんきょうしつ
「小学生のための自転車安全教室」② (2 安全に運転してみよう)

1. 正しい発進の方法や正しい止まり方とおり方を学習して、わかったことや思ったことを書きましょう。

2. 踏切のわたり方や、夕方や夜などの暗いときの自転車運転で、気を付けなければならないのは、なぜでしょう。

◇踏切のわたり方

◇夕方や夜などの暗いとき

3. 自分の安全運転のめあてを書きましょう。

[]

しょうがくせい じてんしゃあんぜんきょうしつ
 「小学生のための自転車安全教室」③ (3 きけんだよ)

1. きけんな^の乗り方^{かた} (どんな^の乗り方^{かた}がきけんか) を書きましょう。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2. じてんしゃあんぜんりようごそく^か 自転車安全利用五則を書きましょう。

- () ^{どう げんそく}道が原則、() ^{がわ つうこう}側を通行
- ^{ほど さい}歩道は例外、() ^{ゆうせん}を優先
- ^{こう さいてん}交差点では () と () ^{まも}を守って、^{あんぜんかくにん}安全確認
- () はライトを^{てんとう}点灯
- ^{いんしゅうんてん きんし}飲酒運転は禁止
- () ^{ちやくよう}を着用

3. じぶん^{あんぜんうんてん} 自分の安全運転のめあて^かを書きましょう。

[]

「小学生のための自転車安全教室」④ (4 わかるかな)

1. 信号のない交差点を自転車でわたろうとしています。どんなことに注意すればよいか、10ページの絵をよく見て、気が付いたところを○で囲みましょう。また、その理由を書きましょう。

①

②

③

④

⑤

2. 信号のある広い交差点を自転車でわたろうとしています。ここではどんなことに注意すればよいのでしょうか。危険なことはないか、11ページの絵を見て気が付いたところを○で囲み、その理由を書きましょう。

①

②

③

④

3. 自分の安全運転のめあてを書きましょう。

[]

(注) 本誌の『自転車』とは内閣府令で定める『普通自転車』をさしています。車体の大きさなどが基準に適合しない自転車^(※)は「普通自転車」に該当せず、「普通自転車等及び歩行者等専用」や「自転車を除く」等の交通ルールが適用されません。

なお、一般的に使用されている軽快車などの自転車のほとんどは「普通自転車」に該当しています。

(※) 一部のマウンテンバイクやタンDEM自転車等

一般社団法人 日本損害保険協会 会員会社(50音順)

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
アイペット損害保険株式会社
アクサ損害保険株式会社
アニコム損害保険株式会社
イーデザイン損害保険株式会社
AIG損害保険株式会社
エイチ・エス損害保険株式会社
SBI損害保険株式会社
au損害保険株式会社
キャピタル損害保険株式会社

共栄火災海上保険株式会社
さくら損害保険株式会社
ジェイアイ傷害火災保険株式会社
セコム損害保険株式会社
セゾン自動車火災保険株式会社
全管協れいわ損害保険株式会社
ソニー損害保険株式会社
損害保険ジャパン株式会社
大同火災海上保険株式会社
東京海上日動火災保険株式会社

トーア再保険株式会社
日新火災海上保険株式会社
日本地震再保険株式会社
ペット&ファミリー損害保険株式会社
三井住友海上火災保険株式会社
三井ダイレクト損害保険株式会社
明治安田損害保険株式会社
楽天損害保険株式会社
レスキュー損害保険株式会社

2024年3月現在(会員会社29社 50音順)

損害保険に関するご相談・お困りごとは**そんぽADRセンター**にご連絡ください。



0570-022808

(通話料有料)

IP電話からはこちらへ
☎03-4332-5241

受付時間：午前9時15分～午後5時 (月～金曜日(祝日・休日および12月30日～1月4日を除く))

監修 小林 元子 (全国学校安全教育研究会顧問、元 東京都目黒区立五本木小学校校長)
発行 一般社団法人 日本損害保険協会
業務企画部 啓発・教育・防災グループ
〒101-8335 東京都千代田区神田淡路町2-9
TEL 03-3255-1215
E-mail: keihatsu@sonpo.or.jp
編集制作 一般財団法人 日本交通安全教育普及協会